

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化や看取りに関しては、グループホームとしても今後、避けられない課題と考えられる。独立した方針や、具体的な対応等再度検討する必要がある。	重度化や終末期に関して、再度家族の意向や現状GHでの可能なケアを確認する。	従来の「重度化した場合における対応に係る指針」を再度説明し、重度化や終末期に関して、意向確認書を作成し、本人様、家族様に記入していただく。	6ヶ月
2	35	夜間避難訓練に近隣を代表する運営推進委員や近隣に位置する同法人の特別養護老人ホームの参加を検討する必要がある。	今年、昨年見直した夜間避難訓練を始めて行う予定である。結果をふまえ、再考していく。	近隣を代表する運営推進委員の参加に関しては、仕事の兼ね合いもあり難しいところがある。特養の担当者と夜間避難訓練の意見交換を行い実施する。	6ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。